

貯金
(基金)

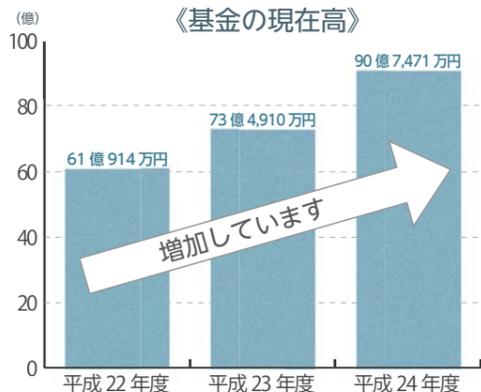
市の貯金は90億7,471万円です！

市の貯金と借入金はどうなってるワッ？



市の貯金に当たる「基金」は、災害発生等の緊急時の対応や教育・文化の振興、福祉の向上などのために積み立てて活用しています。

平成24年度は、将来の支出に備えて財政調整基金と減債基金あわせて13億4,445万円の積み増しなどを行い、全体で17億2,561万円の増となり、平成24年度末の基金残高は、90億7,471万円となっています。市民一人当たりで換算すると14万3千円となります。

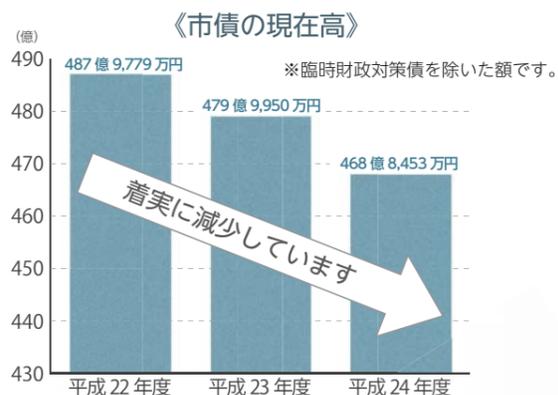


借入金
(市債・企業債)

市の借入金は468億8,453万円です！

学校や図書館、道路などを建設するには多額の費用が必要なことから、借入金を活用しています。これらの施設は長年にわたり使用するもので、次の世代を含め、使う人みんなが公平に負担してもらうという考えから借り入れをしています。

平成24年度末の残高は578億6,957万円ですが、後年度に地方交付税で措置される臨時財政対策債を除くと468億8,453万円です。市民一人当たりで換算すると73万9千円となります。



健全な財政運営のために

計画的な繰り上げ返済を行っています！



今後も将来にわたり安定した行政サービスを市民の皆さんに提供できるよう、健全な財政運営に努めていくワッ。

合併前の旧4市村では、借入金を活用して積極的に道路や下水道、福祉・教育施設などの整備を行っていましたが、借入金の残高が増え、返済の負担が重くなっていました。

財政健全化のためには、大きくなり過ぎた借入金の残高を減らす必要があります。そこで市では、計画的な借り入れと返済を行うとともに、市税や補助

金などの収入確保と事務事業の見直しなどの経費節減に努め、捻出したお金で繰り上げ返済を実施してきました。

繰り上げ返済のメリットは、翌年度以降の利子が節約できることです。利子節約分で捻出した財源は、市民福祉の向上に活用することができます。

市の財政状況を公表します

市の財政について説明するワッ！



市公認キャラクター「しらがわん」

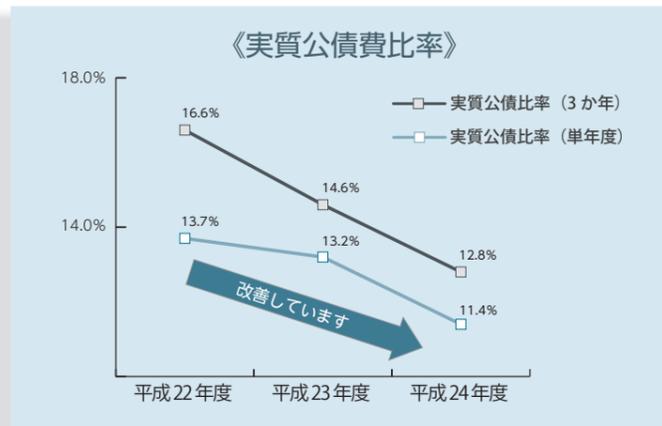


皆さんから納めていただいた税金などのお金がどのように使われているのか、また、市の貯金や借入金はどれくらいあるのかなどを知っていただくために、市では、毎年6月と12月に財政状況を公表しています。

今月号では、現在の財政状況と平成24年度決算の概要をお知らせします。

財政指標

財政状況が改善しています！



国が示す4つの指標（実質赤字比率・連結実質赤字比率・実質公債費比率・将来負担比率）で、市の財政の健全性を見てみるワッ。

実質公債費比率が大幅に改善しました！

収入に対する借入金返済額の割合を示す実質公債費比率は、3か年平均では12.8%となり、前年度と比較して1.8ポイント改善しました。

【健全化判断比率（平成24年度決算）】

指標	内容	白河市	早期健全化基準 (イエロカード)	財政再生基準 (レッドカード)
実質赤字比率	一般会計※1を中心とした赤字の割合	赤字なし	12.62%	20%
連結実質赤字比率	一般会計、特別会計※2、企業会計※3のすべての会計の赤字の割合	赤字なし	17.62%	30%
実質公債費比率	年間の借金返済額の割合	12.8% (3か年平均)	25%	35%
将来負担比率	将来負担が見込まれる負債の割合	115.6%	350%	

※1 一般会計 教育や福祉、道路整備などを行う行政の基本的な会計
 ※2 特別会計 国民健康保険や公共下水道事業などを行うために一般会計と区別している会計
 ※3 企業会計 水道など、民間企業と同様に利用料金などの収益で運営している会計

財政健全化が進み、市の「健全化判断比率」は、いずれも国の基準内。これからも健全化に取り組んでいくワッ。



【1人当たり・1世帯当たりの市税の負担と使われたお金】

※平成25年3月31日現在の住民基本台帳人口・世帯数で算出
人口 63,445人
世帯 23,676世帯

1人当たりの
市税の負担額 **124,115円**
使われたお金 **592,629円**

1世帯当たりの
市税の負担額 **332,592円**
使われたお金 **1,588,078円**

《1人当たりに使われたお金の内訳》 ※歳出決算額を行政の目的別に分類し、1人当たりの額を算出したものです。



特別会計

特別会計は、特定の収入で特定の事業を実施するための会計です。一般会計と区別することで、それぞれの事業の収支や運営実績を明確にすることができます。市には、国民健康保険や公共下水道事業など、14の特別会計があります。

区分	歳入	歳出	差引
国有林野払受費	18万3千円	18万3千円	0円
教育財産	215万6千円	215万6千円	0円
小田川財産区	1,626万9千円	1,626万9千円	0円
大屋財産区	309万3千円	309万3千円	0円
樋ヶ沢財産区	19万4千円	19万4千円	0円
土地造成事業	2,987万9千円	2,650万8千円	337万1千円
国民健康保険	74億498万9千円	66億6,032万2千円	7億4,466万7千円
後期高齢者医療	5億390万6千円	4億9,903万2千円	487万4千円
介護保険	45億2,883万9千円	44億18万5千円	1億2,865万4千円
地方卸売市場	2,304万2千円	2,304万2千円	0円
公共下水道事業	24億694万1千円	23億5,915万6千円	4,778万5千円
農業集落排水事業	15億4,809万3千円	15億3,417万2千円	1,392万1千円
個別排水処理事業	8,559万7千円	8,559万7千円	0円
簡易水道事業	4億1,259万3千円	3億7,031万6千円	4,227万7千円
合計	169億6,577万4千円	159億8,022万5千円	9億8,554万9千円

【水道事業】

区分	歳入	歳出	差引
収益的	10億2,547万円	9億2,598万6千円	9,948万4千円
資本的	1億3,198万6千円	4億9,173万6千円	△3億5,975万円

※収支の不足分は、内部留保資金等で補てんします。

【工業用水道事業】

区分	歳入	歳出	差引
収益的	4,047万1千円	4,047万1千円	0円
資本的	7,192万6千円	1億1,123万7千円	△3,931万1千円

※収支の不足分は、内部留保資金等で補てんします。

企業会計

企業会計は、地方公共団体が社会公共の利益を目的に経営する地方公営企業の会計です。主に、利用者が支払う料金収入で事業を行っています。

◇市の財政についてもっと知りたい方は、市ホームページでもご覧いただけます。

<http://www.city.shirakawa.fukushima.jp/>
《くらしのインデックス → 地域づくり・行政 → 財政》

☎本庁舎財政課 ☎1111 内2332

詳しく見るワンツ。



平成24年度決算の状況

一般会計

一般会計は、福祉や教育、道路整備など、市の行政運営の基本的な事業を行う会計です。平成24年度の決算は、歳入総額404億6,477万5千円に対し、歳出総額375億9,932万4千円で、差し引き28億6,545万1千円の「黒字」決算となりました。なお、翌年度に繰り越す事業の財源7億1,409万3千円を差し引いた実質収支額は、21億5,135万8千円でした。これは平成25年度の借入金の返済と貯金の積み立て等に活用します。

※当初予算額は、263億1,000万円でしたが、平成23年度からの繰り越し事業や10回にわたる補正予算の編成により、次のような決算となりました。

歳入総額
404億6,477万5千円
前年度比 10.9%増

歳出総額
375億9,932万4千円
前年度比 13.4%増

地方交付税が減少し、財源の確保が困難な状況の中で、震災復興特別交付税、国・県支出金等を確保することにより、震災からの早期復旧・復興を目指した事業を推進しました。

